

きずなの郷

第27号
2008 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成20年10月1日



仮装して参加したわかふじ寮の利用者

『皆で踊ろう』 第27回ふれあい盆おどり

第27回ふれあい盆おどり	1
平成19年度事業報告	2
決算報告	5
わかふじ寮	6
やすらぎ荘	7
新得やすらぎ荘	8
やすらぎ荘・新得やすらぎ荘	9
屈足わかふじ園	10
ひまわり荘	11
交通安全特集	12
花見・行事予定	13
ご寄附・ご寄贈・編集後記	14



7月26日(土) 第27回ふれあい盆踊りが厚生協会「いこいの広場」で、多くの協力団体の方々を支えられながら、約一、〇〇〇人の参加のもと盛大に行われました。

この日は、降雨も心配されましたが、今年度から新たに厚生協会指定管理として運営が始まった「養護老人ホームひまわり荘」の利用者も加わり、狩勝高原太鼓のオープニング演奏を皮切りに幕を開けました。また、今年もしく女性会・屈足としび会や歩くスキーの会の方々の他、老若男女、沢山の町民が踊りに加わり、わかふじ寮の利用者も動物などに仮装し、雰囲気盛り上げました。

模擬店では鳥のから揚げやフランクフルト、焼きそば等が列となり



狩勝高原太鼓によるオープニング演奏



にぎわいを見せた模擬店

開店一時間程で無くなる大盛況で、今年のふれあい盆おどりも、楽しく終了する事ができました。

最後になりましたが、ご協力をいただきました関係機関の皆様、本当にありがとうございました。

平成19年度 事業報告

■法人本部

平成19年度は障害者自立支援法施行の2年目であり、利用者負担のあり方が国会でも議論されたように、多くの問題を抱えながら事業運営を行った。老人福祉分野でも介護保険制度が施行されて7年目を迎え、制度改革が加速する中で事業環境は一層厳しさを増してきている。

このような状況の中、本法人として19年度中に次の通り大きな動きがあった。

1. 特別養護老人ホームに新得町の補助により、短期入所棟を建設した。
2. 新得町の決定により、平成20年度から町立養護老人ホームひまわり荘の指定管理を行うことになり、その準備を進めた。
3. 新規授産事業として、サホロ工場を整備しペットフードの製品開発を行い、生産を開始した。
 - ・理事会の開催（10回）、監事監査の実施（4回）、評議員会の開催（6回）
 - ・役員研修の実施（3回）
 - ・法人としての研修会の開催（3回）
 - ・顧問契約の締結（松浦弁護士、富士道公認会計士）
 - ・専門部会の運営（管理部会・施設在宅事業部会・就労センター部会・研修部会）

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

わかふじ寮・わかふじワークセンターについては平成18年10月に新体系に移行し、わかふじ寮は就労移行支援と施設入所支援、わかふじワークセンターは就労移行支援、就労継続支援B型の多機能型事業にそれぞれ移行したこともあり、平成19年度は施設移行に伴う対応に追われる年となった。

特に就労移行支援については一般就労に向けた支援が中心となり、ハローワークへの求人登録をし、企業への面接までの支援を行なった。障害者の雇用促進が叫ばれる今日ではあるが、障害者の雇用は依然として厳しく、一般就労に結び付いたのはトアリアル雇用制度を利用した1名に留まった。

又ペットフードの新規事業が開始になった事や、家具部門の大口注文が重なったこともあり、就労移行支援に向けた取り組みに時間がとれず、思った様な支援が出来ない時期もあった。

利用者への支援の中心となる個別支援については、モニタリングを定期的の実施し、支援内容の見直しや確認を行うことが出来た。実際の支援の実施については継続支援の結果、改善されて計画を終了できるものも見られたが、利用者の高齢化などの理由から新たな支援が必要となるケースが見られ、支援の長期継続化や具体的な支援内容を見直す必要に迫られたケースも見られた。

【1】介護部門

- ・個別支援計画にそって支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。

【2】就労移行部門

- ・ハローワークへは5名の登録を行い、履歴書の書き方、面接の受け方、就職面接会、企業の見学などの支援を行なった。11月より1名、町内の企業に職場実習に入り、各種支援を行なうことで本採用に結びつけることができた。

【3】医療部門

- ・8月にミニ人間ドック受診。乳がん、子宮がん検診は7月に通所者、3月に入所者が受診、11月にはインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・ノロウイルス対策のため施設内清掃時には塩素を使用し、流行時期については利用者に対して手洗いうがい徹底した。

【4】食生活部門

- ・温蔵庫・冷蔵庫を使用することで温食、冷食の実施をした。又なるべく配膳の直後に調理をするこ
とで、温かい食事を提供するように努めた。

【5】地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動

- ・毎日木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。又行事にも参加を呼びかけた。
- ・学校より依頼のあった、総合学習や手話講座などについて積極的に受け入れ協力した。（受入5校）

【6】授産事業

- ・国内景気が浮揚している中、道内景気については未だに遅れている状況にあり、授産事業にも深刻な影響を与えた。新規事業として、10月よりペットフード事業を開始するなど事業振興に取り組んだが、営業不足等により、売上目標は達成出来なかった。
- ・授産事業総売上額 90,574,000円（前年比109.1%）
- ・利用者の月額平均工賃

わかふじ寮（就労移行支援）	29,067円
第2わかふじ寮（身障授産）	17,988円
わかふじワークセンター（就労移行支援）	55,133円
（就労継続B型）	59,404円

【1】 具体的計画

- ・在宅生活に対する本人、家族の意向を汲み取るよう訪問を重ね、本人や家族が目指す在宅生活の課題解決のために課題分析し有効な介護サービス計画（ケアプラン）及び予防計画の作成を行った。
 - ・必要時にはサービス事業者、行政機関・医療機関との連絡調整を図っている。
- サービス事業者と必要に応じてケア会議を開催しモニタリングを行い本人・家族の意向を尊重した総合的な援助サービスの提供に努めた。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が、可能な限りその居宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認その他の必要な日常生活上の支援、機能訓練等のサービスを提供してきた。また、利用者のニーズを引き出し、選択できるサービスを充実してきた。

利用者の健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

また、予防保険制度の改正により新予防給付が創設された事を受け、当事業所では、介護予防による通所サービスの実施のため、機能訓練、栄養改善、口腔機能向上の選択的サービスの体制作りを整えてきた。しかし、機能訓練・口腔機能向上の希望は、徐々に増えてきているが、栄養改善については、需要が見られなかった。従来の通所介護サービスについては、アクティビティの選択種目を利用者のニーズに合わせて増やし内容の充実を図り、より利用者を楽しんで頂けるよう努め、利用増へとつなげていった。

【1】 利用者サービス

- ・適切なサービスの提供ができるよう計画した。また複数回利用、利用曜日の変更、介護度変更があった場合には、随時通所介護計画書、通所介護予防計画書の変更を行った。
- ・サービス向上委員会、行事計画担当委員にて、サービス質の向上について検討し、6月午前・午後浴の実施、7月希望者のみ外出行事を実施、9月口腔機能向上のサービス提供、10月ミニデイ開所記念外出行事、11月昼食出前、2月送迎時間短縮の改善を実施した。

■屈足わかふじ園

障害者自立支援法の施行により、報酬の日払化や利用者負担のあり方が大きくかわり、施設を取り巻く現状は厳しさを増しているが、個別支援計画に基づき利用者へのサービス提供に努めた。

【1】 介護部門

- ・個々のケアプランを作成し、毎月のモニタリングをはじめ定期的に評価し、生活援助場面に活用した。

【2】 医療部門

- ・インフルエンザ予防接種を実施すると共に、加湿、喚気うがい等の徹底を図った。
- ・ノロウイルス対策として手洗い及び毎食前の消毒を徹底した。
- ・感染症予防マニュアルの再配布を行い、感染症予防対応の再確認を行った。

【3】 給食部門

- ・嗜好調査については、随時行った。また給食会議に利用者の代表3名の出席を得て行った。
- ・利用者の意見も聞きながら、行事食の献立を立てた。
- ・セレクトメニューを週2回実施し、本人に選んで選択してもらい提供した。

【4】 リハビリ部門

- ・個別の訓練計画を立て、ケアプランに反映させた形で進めることができた。
- ・月2回、理学療法士とスタッフによる身体状況と訓練メニューの評価を行いながら進めることができた。

【5】 生活支援部門

- ・入所前面接の時に説明を十分に言い、施設の情報を提供し、利用者や家族の理解を得て契約を行った。
- ・利用者の困りごとや相談には、個別に対応した。
- ・利用者間同志における苦情については支援員が仲介に入り随時対応を検討した。
- ・月1回、利用者懇談会を開催し、生活場面における意見や要望を聞き、互いに生活について考える機会を持つようにした。

【6】 その他

- ・避難訓練を2回実施し、そのうち1回は夜間を想定した訓練を行った。
- ・ビデオを利用した防災学習を行った。

■屈足わかふじデイサービスセンター

平成19年度の活動内容として、機能訓練では主にビデオ体操や食前体操を園利用者と共に行ない、レクリエーションではボールやサイコロを使った運動やホワイトボードを使ったゲームを行ない、園利用者と共に参加して交流を深めた。創作的活動は手指の機能が使える利用者が少なく、実績には至っていない。

全体的な利用状況として、延べ利用者数が昨年度より332名の減少（計131名）であった。このことについて、平成18年度末で65歳以上の利用者が介護保険の対象となる為、3名の利用中止者がいたことや、家族の都合で5月に1名の利用中止者がいたこと、さらに年間を通して長期入院の利用者がいたことがあげられる。また、平成19年度の新規利用者増の対策として、役場保健師を通して声掛けを行なったが、利用者増には結びつかなかった。

平成19年度決算報告

平成20年3月31日

財 産 目 録

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 資 産		458,689,205
固 定 資 産		3,217,051,962
資 産 合 計		3,675,741,167
負債の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債		68,004,063
固 定 負 債		372,830,213
負 債 合 計		440,834,276
差 引 正 味 資 産		3,234,906,891

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	458,689,205	流動負債	68,004,063
固定資産	3,217,051,962	固定負債	372,830,213
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	1,852,201,164
		その他の積立金	252,181,528
		次期繰越活動収支差額	1,116,024,199
資産合計	3,675,741,167	負債純資産合計	3,675,741,167

事 業 活 動 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険収入	322,678,386
利用料収入	64,410,185
措置費収入	158,523,920
支援費収入	524,200
自立支援費等収入	539,495,474
補助事業等収入	2,631,504
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	6,957,466
雑収入	12,590,164
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	4,802,116
経理区分間繰入金収入	146,430,261
受取利息配当金収入	1,199,459
授産事業収入	96,046,546
施設整備等補助金収入	71,377,000
補助金等特別積立金取崩額	57,951,669
収入合計	1,504,948,350
人件費支出	650,556,122
事務費支出	130,841,631
事業費支出	195,471,293
借入金利息支出	6,094,228
経理区分間繰入金支出	146,430,261
授産事業支出	111,875,642
その他の支出	0
国庫補助金等特別積立金積立額	66,850,000
引当金繰入	13,389,480
減価償却費	113,043,747
固定資産処分損	0
支出合計	1,434,552,404
当期活動収支差額	70,395,946
前期繰越活動収支差額	1,099,013,916
その他の積立金取崩額	10,614,337
その他の積立金積立額	64,000,000
次期繰越活動収支差額	1,116,024,199

資 金 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険収入	322,678,386
利用料収入	64,410,185
措置費収入	158,523,920
支援費収入	524,200
自立支援費等収入	539,495,474
補助事業等収入	2,631,504
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	6,957,466
雑収入	12,590,164
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	4,802,116
経理区分間繰入金収入	146,430,261
受取利息配当金収入	1,199,459
授産事業収入	96,046,546
施設整備等補助金収入	71,377,000
固定資産売却収入	0
積立預金取崩収入	10,614,337
収入合計	1,457,611,018
人件費支出	650,556,122
事務費支出	144,231,111
事業費支出	195,471,293
借入金利息支出	6,094,228
経理区分間繰入金支出	146,430,261
授産事業支出	111,875,642
流動資産評価減による資金減少額	0
積立預金積立支出	64,000,000
借入金元金償還金支出	27,970,000
固定資産取得支出	106,223,517
投資有価証券取得支出	0
予備費	0
支出合計	1,452,852,174
当期資金収支差額	4,758,844
前期末支払資金残高	385,926,298
当期末支払資金残高	390,685,142

プロ野球観戦、札幌ドームへ

4月24日、プロ野球公式戦「北海道日本ハムファイターズ vs オリックスバファローズ」の試合を観戦してきました。

今回は北海道日本ハム球団のご厚意により、利用者9名・職員2名が招待を受けました。試合までに時間があったため、選手のグッズを買ったり、テレビで見ることでできない練習風景を見ながら過ごしました。

試合は、当日ダルビッシュ投手が先発し、1点を争う好ゲームでしたが、最後は延長10回小田選手のホームランで日本ハムが3対2でサヨナラ勝ちをしました。

北海道日本ハムファイターズ様と関係者の方々のご厚意により興奮と感動のナイトゲームを過ごす事ができました。ありがとうございました。



観戦中のわかふじ寮利用者

■道東サッシセンター様から寄付金を頂きました

5月16日、帯広市にある(株)道東サッシセンター営業部の浦野さんがわかふじ寮を訪れ、同社が4月26日・27日、帯広市のとちかちプラザで開催した「家づくり・夢づくりフェア」の中で行われたチャリティオークション（出展数34点）の益金81,750円を寄付して頂きました。

同社は、2年前よりフェア開催の際、出展各社から募った品でオークションを開催し、益金の寄付を継続していただいております。今回が3回目です。

寄付金は利用者の役に立つよう有効に使わせて頂きます。ありがとうございました。



道東サッシセンター浦野さん（写真右）から、田中常務理事に寄付金を手渡されました。

自治会パークゴルフ大会

Aクラス道端さん 昨年に続き2連覇

6月14日、わかふじ寮自治会主催のパークゴルフ大会が開催されました。

6月とは思えない肌寒い気温と小雨混じりの天気だったため、体力に合わせて町民体育館でのフロアカーリングとサホロリバーサイドパークゴルフ場でのパークゴルフと2か所に分かれての開催になりました。

フロアカーリングでは個人戦で競技を行い、パークゴルフAクラスでは昨年優勝の道端さんが2連覇を成し遂げ『来年も優勝を狙う』と話していました。

終了後は、わかふじ寮に戻り表彰式を行い、恒例のジンギスカン鍋を囲み、お互いの健闘をたたえあい楽しいひと時を過ごしました。



ナイスショットをねらって？

優勝者は以下の通り

～フロアカーリング～

男子Dクラス 扇 精伸
女子Dクラス 池端トシ
男女混合Eクラス 佐藤政一

～パークゴルフ～

男子Aクラス 道端 均
男子Bクラス 柳瀬幸信
女子Bクラス 平田くに子
男子Cクラス 加藤泰憲
女子Cクラス 笠井ヒロ子



一打に集中！



来年も優勝するぞ

☆新入所者紹介☆

新しい仲間が加わるようになりました。

武藤吉郎さん

プロフィール

生年月日：昭和26年12月25日（56歳）

出身地：音更町（北海道・河西郡）

趣味：音楽鑑賞（ダカーポ・マガジン）
ハイキング

好物：麺類（特にラーメン）

～ひとこと～

皆さん仲良くしてください



あつあつの鳥肉を食べて ～鳥せいで誕生会～

3月の利用者の集いである「もくれんの会」にて来年度（20年度）の誕生会の希望を聞いたところ、「鳥せい」の声が多かったため、今年度の誕生会は「鳥せい」で祝うことになり、最初の誕生会が5月23日に行われました。これまで1月3日の新年会の時に、「鳥せい」のオードブルが出ていましたが、お店に行き、焼きたての鳥肉を食べるのは、初めての為、利用者は熱々の鳥肉を食べ、大変喜ばれていました。また、おにぎりも握りたての為、ふんわりとしており、お肉よりもおにぎりの方がおいしいと言われる利用者の方もありました。

少数で家庭的な雰囲気でお酒を飲みながらゆったりと食べられたことが利用者にとって最高の誕生日プレゼントでした。施設で待っていた他の利用者の方たちが誕生会から帰ってきたみなさんに「どうだった？美味しかった？」とかけより、「アツアツでおいしかったよ。」「楽しかった。」「私は〇月だから、それまで楽しみにする。」と会話が弾んでいました。

真剣に食べてます
(誕生会)



帯広動物園で楽しいひととき ～猿山、孔雀、象に感激～

6月10日・11日・13日と3日間に分けて帯広動物園に日帰り旅行に行きました。当日は晴天にめぐまれ、利用者のみなさんは様々多くの動物達とふれあい、猿にエサやりをしたり、白熊のご飯を食べる姿や孔雀が羽を広げる場面を見ることもできてとても感激されていました。

昼食は回転寿司に行き、動物園での疲れも忘れて、美味しいお寿司をたくさん食べていました。施設に帰ってきてから動物園で見たことや回転寿司で食べた寿司など、みなさん楽しそうに話していました。



何を見てるのかな？



ウサギかわいいね！

お願い事をかなえてください ～新得山 山開き～

4月21日、新得神社山の山開きが行われました。この日は、利用者25名がバスに乗って出かけましたが、すでにおおぜいの人で賑わっていました。

バスから降りて、まずは参拝です。線香を捧げて手を合わせている表情は、みなさんとても真剣でした。そして参拝が終わると、毎年恒例のお餅をいただきましたが、このお餅を一番楽しみにしていた方が多かったようです。再びバスに乗り、山に登るとリスがいっぱいいて、みなさん「かわいいね」と喜ばれていました。

帰荘すると、いただいたお餅で、早速おしるこを作ってもらい、参拝に行けなかった方にもおすそわけをし、甘くてとても美味しいおしるこを堪能しました。



お願い叶いますように！



おもちをもらって「ありがとう」

ほしいものがあつたかな？ ～帯広買物外出～

平成20年5月に帯広へ買物外出に出掛けました。今年の買物外出は例年同様にイトーヨーカドーとホームックで12日・13日・14日・16日・19日の5日間に分かれて行くことになりました。利用者のみなさんは自分が行く日を確認し買いたいものを考えていました。

買物では欲しい物がなかなか見つからず店内を歩いた末にやっとの思いで見つけた利用者の方もいれば、すぐに買物が終わってしまい、おやきやお菓子を食べてみんなが終わるのを待っている方もいました。

昼食はイトーヨーカドー内のレストランにて思い思いのものをを選び、買いたい物が見つからなかった人も好きな物を食べることが出来て満足されていました。



みんなで食えると美味しい！！



う～ん、美味い

元気いっぱいがんばります

(^ : ^)

～特養新職員紹介～



藤村 健太

4月から、特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘で働かせてもらうことになった藤村健太です。高校卒業後に働かせてもらうことになったので、介護の知識はほとんどないですが、仕事を精一杯がんばっていききたいと思うのでよろしくお願いします。



松元 勝哉

4月から特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘の介護員として働くことになった松元勝哉です。まだ、入ったばかりで仕事はなにもわからないですが、先輩からサポートをいただきながら頑張っていきたいと思っています。仕事場の雰囲気はとても明るく優しい先輩はかりなので毎日楽しく働いています。これからも頑張っていきたいと思うのでよろしくお願いします。



新井保奈美

4月特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘で介護員として働くことになりました新井保奈美です。まだまだわからないことや失敗することがあると思いますが、精一杯がんばりたいと思っています。よろしくお願いします。

昼食に好きなメニューでお祝い

～誕生日昼食会～

今年度から月に一度、その月の誕生日者へのお祝い会を開くことになりました。家族を招き、利用者全員でお祝いをします。また、食事のメニューは事前に誕生日者が集まり何を食べたいのか相談し決まった物を準備しています。

家族が来てくれることで皆さん大変喜ばれ、いつも以上にすてきな笑顔を見せてくれます。中には他の利用者に「感謝の気持ちを伝えたい」とマイクを持ったのですが、感激で涙が止らずに何も言えなかったということもありました。まだ始めたばかりの行事ですが、利用者や家族の皆さんにとって思い出に残るような行事にしていきたいと思っています。



みなさんでお祝い



ビシッときまっています



キレイです

ほしいものがあつたかな？ イトーヨーカドーへ レッツゴー

～少人数で買物へ～

6月10日に利用者の方2人と職員2人で帯広のイトーヨーカドーへ買物に行ってきました。イトーヨーカドーまでは約1時間の道のりですが、疲れも見せず、着いてからすぐに夏物の洋服を選び、色の綺麗な物を買われ楽しんでいました。他にも帽子や髪飾り等、自分に似合うかどうか色々悩みながら買っていました。昼食は行く前から「ラーメンを食べる」と決めている方もおり、デザートにはアイスを食べ、「美味しかった」と大変喜ばれていました。

最後に友人にお土産を選んで、買い物は終わりです。自分で欲しい物を買って、好きな物を食べて、皆さん満足されていました。



何が良いかな？ やっぱりラーメン

はじまりを祝って

～開所記念夕食会～ (やすらぎ荘)
(新得やすらぎ荘)

4月1日はやすらぎ荘、新得やすらぎ荘が開所した日であり、それをお祝いし開所記念夕食会が開かれました。養護と特養から1名ずつの利用者代表による乾杯で会食がスタートしました。お刺身や茶碗蒸などの料理がたくさん並び、お酒もすすみます。会食がすすむうちに楽しくなった利用者のみなさんが踊りはじめ、それを見た他の利用者もみんな踊りに釘付けになりました。おいしい料理と楽しい踊りでやすらぎ荘、新得やすらぎ荘のはじまりの日をお祝いし、みなさん楽しい時間を過ごしました。



おどって満喫



食べて満足

米寿、卒寿…いつまでもお元気で

～長寿の祝～ (やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

3月28日と5月30日に「長寿の祝」の夕食会が開かれました。3月、5月共にお祝いを受ける方は7名で、一人一人を紹介した後にご家族や職員に赤いちゃんちゃんこを着せてもらっていました。施設長からのプレゼントがわたされ、写真を撮るととても喜ばれていました。職員や利用者の方々による踊りも披露され、手拍子と一緒に踊ったりと盛り上がっていました。終始、和やかな雰囲気、利用者の方々やご家族の皆さんも楽しまれていました。これからも皆さんには、ますますお元気で楽しい生活を送っていただきたいです。



プレゼントを受取り「ありがとう」



皆さんお似合いです

新しい仲間を紹介します



中村シマ子氏

新規入所者 紹介



高野 武利氏

5月9日に特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘に入所しました。シマ子さんはショートステイを利用していたので職員とも仲良しで他の利用者ともすぐに打ち解けていました。ちょっとハニカンダように微笑んで、おっとりとお話をする方で穏やかな雰囲気を作り出して周りを和ませてくれています。

6月6日に第2わかふじ寮から養護老人ホームやすらぎ荘に入所しました。お風呂に入ることが好きで、いつもきれいにひげを剃っています。また、昔の話を楽しそうに話されて良い笑顔を見せてくれます。ちょっと頑固な面もありますが、これからもよろしくをお願いします。

元気アップレクリエーション

～知識や技能を地域に還元～

(居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘)

6月21日、わかふじ寮地域交流ホームにて、居宅介護支援事業所新得やすらぎ荘主催による「元気アップレクリエーション講習会」が開催されました。この講習会は施設が持つ知識や技術を地域に還元する事業の一環として行うもので、地域や職場等において、高齢者にレクリエーションの提供しながら活動されている方々を対象に、支援技術の向上を図ることが目的で行われました。

当日は小雨にもかかわらず、普段ボランティアや職場でレクリエーションを活用されている23名が参加されました。講師はやすらぎ荘職員の斉藤レクリエーションインストラクターと菅原福祉レクワーカーが担当しました。どこでも簡単に出来る「指遊び」や「軽体操」で体を慣らし、チーム対抗戦では「手作りビンゴゲーム」や「椅子に座ったままのホッケーゲーム」で大笑い、最後は全員で踊って汗をかきながら大いに盛り上がりました。その後、ティータイムの時間を取り、わかふじ寮のパンと飲み物でくつろぎながら日頃の活動の紹介をし合いました。参加者からは「大変楽しかった。今後も又、講習会を開いて欲しい」という希望が寄せられました。やすらぎ荘でも今後地域の要望に応じて、講習会や、講師派遣を予定しています。



よいい。ドン！！



みなさん 楽しく手を出して

さくらの下で ～パークゴルフの歓声につられて～

(日帰りサービスセンター やすらぎ荘)

4月より週3回、午後のデイサービスが始まりました。活動の内容は利用者の要望に合わせたレクリエーションが行われています。4月29日には、例年より早く咲いた桜を見ようと当日の利用者と共に桜の名所の一つの屈足公園へ出掛けると「あらーっ、きれーい」など皆さん感嘆の声で桜を指差していました。天気は快晴とまでは言えない天候でしたが、シートを広げおやつやお茶を飲んでいると、周囲ではパークゴルフを楽しむ方々の賑やかな笑い声が聞こえ、ついつい利用者もつられて笑い声を出していました。「やっぱり桜はきれいだねー」と話され、楽しいひと時を過ごしていました。午後からのミニデイサービスではこれから外出や行事を計画し楽しみながらそれぞれ有意義に過ごしていただく予定です。



皆で写真撮影しました。



「あらーっ、きれーい」

～いざという時の為に～ 「AED」研修会

昨年、屈足郵便局より寄贈を受けたAED(自動体外式除細動器)の研修会を4月21日に行ないました。

新得消防署から講師を招き、スライドによるAEDの概要説明と訓練用のAEDと人形を使っての実技指導を受けました。

講師の助言と機械の音声指示に従うと意外と簡単に操作できましたが、実際の場面でも焦らずに落ち着いて対応する事の大切さを学びました。



焦らず、落ちついて

～乗馬上手かったね～ 外出行事

6月4日、鹿追町のライディングパークに利用者4名と職員4名で行って来ました。

馬のジョージアが出迎えてくれましたが、初めはその大きな体に圧倒され、近づくのも怖い様子でした。しかし、動物が苦手という職員が果敢にも(!)乗馬に挑戦。その楽しそうな様子に安心したのか、利用者の方々も順に挑戦しました。青い空の下、乗馬帽を被り、ゆっくりと進む馬に乗る利用者の方々は、皆ニコニコしていました。



お馬さんと一緒に記念撮影

～手話の歌に感激！～ 屈足手話の会との交流

5月20日、屈足手話の会のメンバー9名が来園され、手話の歌を披露して頂きました。

施設が開設した平成12年から毎年来園していただいており、今年で9回目になります。

今回は「ふるさと」や「涙そうそう」等を披露して頂きました。特に「ふるさと」ではメンバーの皆様全員がステージを降り、利用者と一緒に手話を交えながら歌を唄っていただきました。

お帰りの際、お見送りされていた利用者にお聞きすると多くの方が「楽しかったので、また来てほしい」と言われていました。



「涙そうそう」披露中

～今の気持ちを聞かせてください～ 意向調査説明会

5月25日に十勝保健福祉事務所の菅野主査にお越し頂き、全利用者を対象に意向調査の説明を行ないました。この意向調査とは、北海道が策定した「平成18年北海道障害福祉計画」において「希望する全ての障害者が地域で暮らせる社会の実現」を目標としており、現時点での利用者の思いをお聞きし、今後、北海道全体でどれだけのサービス量が必要かを調査する目的で行なっております。

当日は家族会総会もあり、家族も利用者と一緒に説明を受け、利用者も自分のことでもあるので真剣に聞き入っていました。

5月30日わかふじ寮でも、利用者の地域生活に対する「入所施設利用者意向調査事業」の説明会が行われました。



皆 真剣に聞いています

～待ちに待った～ ホームゴルフ大会

ひまわり荘では毎年、施設の前の庭にホームゴルフのコースを作り、1ヶ月に一度大会を開催しています。（ホームゴルフとは、パークゴルフのコースにゲートボールのスティックを使い打数を競います。）

今年は5月14日（木）に施設長の始球式後、1回目の大会を行い、13名の方が参加し、皆さん一生懸命行っていました。第2回大会からは、1回目の成績によりハンディキャップがつき熱戦が行われます。



「優勝目指しガンバルぞー」



「よーし ねらうぞー」

運動会見学

6月8日（日）新得小学校の運動会に招待して頂き、14名の利用者が見学しました。

みなさん前日から着ていく服を選んだり出発時間を気にしたりと大変楽しみにしていました。

当日は少し肌寒い天気でしたが、子供たちが一生懸命走る様子を見て、「かわいいね」「がんばって」との声も挙がっていました。

応援合戦や保護者綱引きもみなさん楽しんで観戦しており、帰荘する車中でも「また来たいね」と話されていました。

新得小学校のみなさんありがとうございました。



「紅、白 ガンバレ」



「ガンバレ ガンバレ」

～家族と一緒に盛り上がりました～ 家族交流会

6月21日（土）ひまわり荘家族交流会を御家族、社会福祉協議会会長、佐々木理事長、田中常務理事と一緒に参加してサニールームで行われました。

紅白に分かれ「ピンを倒して」、「ストレス発散」、「玉入れ」等の競技を一生懸命行いました。

一番盛り上がったのが、男性職員が制限時間内に和装に着替え、化粧をした「着替えましょう」でした。佐藤施設長も人生初の女装をし、会場を盛り上げました。

結果は途中までは紅組が勝っていましたが、玉入れで勝利した白組が逆転優勝しました。

その後、参加者全員で昼食会を行い、家族との食事も出来、なごやかに過ごされていました。



どっちが先に
いっぱいになるかな



的をねらって よいしょ

交通安全特集

～事故・違反はしません！～ 法人交通安全大会

6月11日に屈居わかふじ園で、職員を対象にした交通安全大会を開催しました。今回は、新得警察署の河野交通課長から道交法改正のポイントと事故防止の心掛けについての講義と、高附警部補から防犯ステッカーについての説明を受けました。その後、昨年度セーフティラリーを完走した2チームが理事長より表彰を受けました。

最後に職員代表として、ひまわり荘の西山主任支援員が交通安全宣言を読み上げ、職員一同交通事故の防止を誓いました。



新得警察署 河野交通課長のお話です

交通安全教室 in 新得モータースクール (わかふじ寮)

5月31日(土)わかふじ寮の利用者対象の交通安全教室が新得モータースクールで開催しました。開校式では新得警察署の交通課長様より『6月からの道路交通法』の説明後、自動車学校のコースで自転車の乗り方やルール、歩行時の注意を自動車学校の先生が良い例・悪い例の見本を見せて頂き細かな指導をして頂きました。その後、



カサをさして乗ると危ないよ

モータースクールの教室内で正しい自転車の乗り方のビデオ学習と夜間の見やすい・わかりやすい服装や蛍光剤の正しい着用の説明を聞きました。当日は、雨は降らないものの気温が上がらず寒い日でしたが、新得モータースクールの指導員の方々は熱心に指導して頂きました。ありがとうございました。

交通安全教室 (ひまわり荘)

5月30日(金)春の交通安全教室が開催されました。町交通安全推進協議会の加藤推進員と女性の指導員の方々より新しく後部座席に乗車する人もシートベルトの着用が義務化されたことや、交通ルールの説明などが行われました。丁寧で具体的な説明に利用者みなさんは大変興味深く参加されていました。上映された「交通安全水戸黄門」のビデオにもみなさん熱中して見ていました。



女性指導員の説明



わかりやすいビデオでした

～全道ろうあ者夏季体育大会～

(わかふじ寮)

練習の成果が実りました。

6月28日・29日、千歳市で行われた全道ろうあ者夏季体育大会の「パークゴルフ競技」にわかふじ寮から15名が参加しました。当日は絶好の天気恵まれ、暑さとの戦いでしたが、全員健闘しました。



参加者一同の記念写真です

十勝聴力障害者協会の成績は以下の通り。

男子一般	4位	川口 豊
	5位	水本 昇
男子シニア	7位	加藤 泰憲
女子一般	1位	川口 武子

(やすらぎ荘)

勝ち負けにこだわらず

同日、千歳市で行われた全道ろうあ者夏季体育大会の「ゲートボール競技」にやすらぎ荘から7名の利用者が参加しました。

当日は、昨年11月に亡くなられたわかふじ寮利用者森谷さんのお父さんも応援にかけつけて頂きましたが、競技結果は残念ながら全敗で、最下位に終わりました。しかし、順位にこだわらず、楽しく試合をする事が出来き、みんなが満足で、大会後には、楽しみにしていた登別温泉で疲れを癒し、登別熊牧場や札幌ビール園の観光を満喫し、楽しい1泊2日の大会参加となりました。



第1ゲートをねらって入るかな？ 熊が近づいてきたよ。



■ 第2回法人職員研修「広報誌の作り方」 ■

3月5日に法人全職員対象の研修を行い、2回目の「広報誌の作り方」研修が5月12日わかふじ寮地域交流ホームで開催されました。今回は実際に広報誌を作る演習形式の研修で、老人・療護・授産の各施設より代表の職員14名が3つのグループに分かれ演習形式で行いました。それぞれ宿題で作成してきた記事や見出し、写真を持ち寄り、実際に紙面構成、記事の割付、写真の貼り付けを行い一枚の広報誌を実際に仕上げていく内容の研修で、講師は前回同様、東京での研修会に参加したわかふじ寮の田口指導員が担当しました。

見出しのつけ方、写真の使い方、写真には必ず説明文を入れること、記事の文章の切り方など、田口指導員の厳しい指摘に、参加し職員は盛んに頭を悩ましていましたが何とか完成し、最後には読みやすい広報誌の作り方のコツを体験研修を行ないました。

研修会に参加した法人職員の鈴木さんは「広報誌は自作の為、いつもの変化のないレイアウトの使い方や見出しのつけ方など、研修で体験した方法を実践で活かしたい」と話していました。



みんな紙面構成に頭を悩ましています

お花見特集

わかふじ寮

花は散っても花より団子

5月10日(土)家族会の総会と花見が開催されました。花見に先立ち10時30分より家族会の総会が開催され、「施設の周りにもっと桜を植えてはどうか」などの意見が出されました。

花見は、気温が10度と肌寒く、桜も散っていたため、花より団子ということで食堂で行いました。ジンギスカン鍋を囲みと春の山菜アイヌネギを堪能しました。利用者のご家族が50名を超え職員も合わせると総勢200名の参加となりました。会食後は、ペットフード工場(佐幌工場)の見学会が設けられはじめて見る工場や機械の大きさに家族会の方々はびっくりした様子でした。



やすらぎ荘

おいしいジンギスカンに満足 ～あいにくの天候で室内での花見～

5月10日にわかふじ寮、やすらぎ荘で合同花見を予定していましたが、あいにくの天候でそれぞれ別々に施設内で行うことになりました。

やすらぎ荘では、木の枝に色紙で作ったさくらの花をつけ、食堂内に飾りました。本物のさくらの花ではありませんでしたが、利用者みなさんからは「きれいで良いね」などの感想が聞かれていました。また、外での食事とはなりませんでした。ジンギスカンやうどんを焼きながらみなさんおいしく食べ、室内でのお花見を満喫していました。



屈足わかふじ園

焼き肉・アイヌネギ てんこ盛り 花見食事会

5月13日(火)に花見食事会を行ないました。当日は桜を見ながら屋外で食事会を行なう予定でしたが、天候に恵まれず食堂で行ないました。

花見の行事としては今回初めて家族の方にも声を掛けさせていただき、12家族16名の参加がありました。利用者・家族・職員共々、楽しい一時を過ごしました。



ひまわり荘

花より団子

5月16日(土)ひまわり荘で花見が行われました。施設の周りにはとてもきれいな桜の花が並び町内外の方も見にくるほど鮮やかでしたが、今年は開花が早く花見を行った時には桜は散っていました。しかし当日はとても快晴で、佐幌長生クラブの方を招き美味しいジンギスカンを食べ、お酒を飲み、カラオケを歌い盛り上がりしました。

来年は桜が満開の時にに行えればと願っています。



行事予定

◆わかふじ寮

- 10月 4日(日) 文化祭
- 10月 11日(土) 合同運動会

◆屈足わかふじ園

- 10月 避難訓練、秋の味覚祭
- 11月 音楽療法

◆やすらぎ荘・新得やすらぎ荘

- 10月 合同運動会
(わかふじ寮・やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

- 10月 施設内ゲーム大会(特養)
- 施設内スポーツ大会(養護)

- 11月 長寿の祝(合同)
- 鍋の会(合同)
- 買物外出(養護)

◆ひまわり荘

- 10月 合同運動会
- 日帰り旅行
- 一泊旅行



昨年の合同運動会

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成20年3月から平成20年6月まで（敬称略）

<本部>

新得町
横濱市
苫小牧市
帯広市
新得町
北見市
札幌市
更別村

千葉 正博
島津千鶴子
牧野 武司
増田 静男
田中 雅之
佐々木庸夫
境 幸子
古主コトエ

標茶町
日高町
札幌市
札幌市
札幌市
千歳市

大山 敏宏
藤沢 英明
石川 絵理香
坂口 和成
菊地 リヨ
小野 豊
森谷 二三男

新得町
旭川市
帯広市
北見市
新得町
清水町
帯広市

成田 富男
成瀬 静男
増田 木庸夫
佐々木 郁也
横山 慶信
中野 正義
松井 正義

音更町
芽室町
上士幌町
釧路市
札幌市
東京都

村上 重文
櫻井 重英
本田 艶子
宮路 三夫
藤澤 富子
高谷 優子
久保下 優子
浅窪 みどり
渡部 瞳

【わかふじ寮】

帯広市 株式会社サッセンター
別海町 加藤 泰行
小樽市 金子 治郎
新得町 川崎 勉
芽室町 後藤 幸雄
深川市 須藤 有俊
札幌市 工藤 末吉
札幌市 佐々木 芳子
釧路市 山口 憲夫
新得町 (有みうら)
標茶町 千葉 勲
別海町 水沼 猛
新得町 菅原 武夫
苫小牧市 木村 忠信
札幌市 平田 敬一
札幌市 境 幸子
旭川市 犬飼 正一

【やすらぎ荘】

帯広市 濱 純夫
芽室町 谷保 義明
新得町 千葉 玄昭
札幌市 新岡美代恵
函館市 品田 信子
新得町 (有みうら)
旭川市 金子 敬子
上川町 佐藤加代子

【新得やすらぎ荘】

新得町 ふうせん
新得町 花房きみ江
新得町 鈴木喜三郎
帯広市 大和 よし
新得町 JA十勝地区女性協議会
新得町 中村セツ子
新得町 屈足ディスコダンスの会
新得町 浅野 剛司
札幌市 長谷川武夫

【屈足わかふじ園】

新得町 渡辺千代子
片岡 宣弥
矢木ツル子 屈足カラオケ友の会
玉川 菓子店
朝日婦人会
成清 孝一
佐藤 茂光
佐藤 三男
小川 小ゆき
浦田 芳江
屈足手話の会
渡辺千代子
中野商店
高杉 チエ
桶田 政史
千葉 玄昭
本田 公一
柳澤 秀一

【ひまわり荘】

函館市 加賀谷和歌子
岩見沢市 小黒住太郎
帯広市 三輪ミツ子
蟹江 信幸
菅原 耕蔵
梨本 敏美
可香谷 洋子
小笠原 徹
高橋 正廣
農事組合法人
共働学舎 新得農場
加藤 博
春日 康佑
渡辺 春恵
佐々木 路子
山口 敏子
松平満喜子

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

(ペットのおやつ) ブログ

<http://blog.campan.info/wakafuji>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)
wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
yasuragi@rainow.ne.jp (やすらぎ荘)
himawarihome@ivory.plala.or.jp (ひまわり荘)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

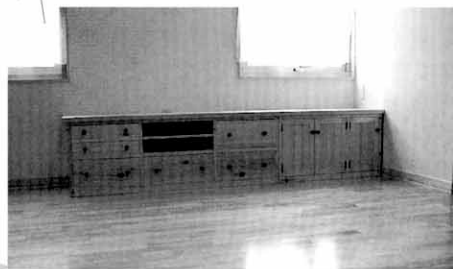
今回の編集からひまわり荘も新しく加わり、これまでと変わらずに近況をより分かりやすくお伝えできるようにしていきたいと思います。

暑い夏は終わりましたが、これからは秋が一層深まっていく今日この頃です。

家具・小物・雑貨など、まずはお気軽に相談ください。

わかふじ寮の手づくり家具

シンプル
丈夫で長持ち



素材：パイン・パイン集成材
サイズ：2400×450×520

手づくり家具なんて贅沢で、特別な人だけものとおもっていませんか？

高級なものなど無用です。
普段使いの、しかし、ちょっと遊び心のある家具をあつらえてみませんか？
それを使い込む…使い込むほど愛着が深まる…
そのような家具を造ります。

まずはご相談ください。
こんなもの…あんなもの…
皆様の思いをお聞かせください。

メール・FAX・電話 いずれでも結構です
ご連絡をおまちしております!!

メール takahashi@wakafuji.or.jp
電話 0156-64-5001
FAX 0156-64-5522

